

茨協ニュース

第97号

平成29年3月1日

一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会

国の発注ガイドラインを熟知し、
正確に伝達する能力を磨こう



CONTENTS

目次

CONTENTS

- | | |
|--|-------------------------------|
| ■ 平成29年 新春賀詞交歓会開催 …………… 2 | ■ 会員告知板 …………… 16 |
| ■ 平成28年度 会員相互のコミュニケーション促進事業 … 6 | ■ 理事会だより …………… 17 |
| ■ 平成28年度 ビルクリーニング技能検定受検準備講習会 … 9 | ■ 各委員会だより …………… 17 |
| ■ 平成28年度 小学生清掃活動トレーニング事業 …10 | ■ 会員紹介ページ …………… 18 |
| ■ 平成28年度 高齢者活躍人材育成事業 (清掃技能講習) 実施結果 …12 | ■ 自由投稿欄「いつもありがとう 我が社の主役たち」…20 |
| ■ ビルメンテナンス ロボット実演会の開催 ……………13 | ■ 編集後記 …………… 22 |
| ■ 平成28年 災害事例 …………… 15 | ■ 祝 稀勢の里関 横綱昇進・県民栄誉賞受賞 ……24 |
| ■ 平成29年度 主要事業・行事の開催予定 …………… 16 | |

平成29年

新春賀詞交歓会開催

■ 総務委員会

去る1月20日(金)、茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、水戸プラザホテルにて盛大に開催されました。

ご来賓に、茨城県知事 橋本 昌様をはじめ、自由民主党茨城県支部連合会 政務調査会長 森田 悦男様、茨城県保健福祉部 理事兼次長 近藤 慶一様、同 生活衛生課長 前田 亨様、茨城労働局 労働基準部 健康安全課長 工藤 好央様、業界からは(公社)東京ビルメンテナンス協会会長 佐々木 浩二様、(一社)茨城県警備業協会会長 島村 宏様、(一社)茨城県貯水槽維持管理協会会長 稲葉 貞幸様、茨城県管工事業協同組合連合会会長 石田 賢司様、(一社)茨城県ペストコントロール協会理事 飯嶋 明友様、(公社)茨城県シルバー人材センター連合会総務課長 石津 嘉一様、(公財)茨城県生活衛生営業指導センター専務理事 川島 邦子様など、多数のご臨席を賜りました。

主催者を代表して当協会の大山進会長から、「社員は、国の発注ガイドラインを熟知し、正確に伝達する能力を磨きましょう」との力強い新年の挨拶をいただき、新しい年を迎えるにはふさわしい和やかな雰囲気の中、ご来賓並びに会員の皆様と新年のご挨拶や意見交換等を行なわれ、大変活発な交流が行われ、懇親を深めることができました。

お忙しい時期にも関わらず、沢山の方にご出席賜りまして心より感謝申し上げます。

最後になりますが、各社の益々の発展をご祈念いたしまして新春賀詞交歓会の報告とさせていただきます。



鏡開き

(一社)茨城県ビルメンテナンス協会
会長 大山 進



改めまして、明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、決意を新たに、新年を迎えられたことと存じます。

本日は、ご多忙中にもかかわらず、茨城県知事 橋本 昌 様、自民党県連 政務調査会長 森田 悦男 様をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、恒例の賀詞交歓会が開催できますことを、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、昨年を振り返りますと、多事多端な一年ではありましたが、その中で、五月の「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合」では、会議場などの環境衛生の管理を、当協会の会員企業が担うこととなり、まさに本県のビルメンテナンス業の真価が問われることとなりました。

おかげ様で、衛生上の問題もなく、大臣会合は無事終了しましたが、清潔で衛生的な日本の素晴らしさを、外国の政府関係者に感じとっていただけましたなら、この上ない喜びでございます。

また、スポーツの分野では、年末から元旦にかけての「鹿島アントラーズ」の活躍は本当に目を見張るものがありました。

本県は、都道府県別 魅力度ランキングでは不可解な扱いを受けておりますので、その分、胸がすく思いでおります。

さて、私どものビルメンテナンス業を取り巻く環境は、限度を越えたコストダウンや、

慢性的な人手不足など、依然として厳しい状況が続いております。

そのような中、官公庁のビルメンテナンス業務の入札制度に関しましては、一昨年の六月に、厚生労働省から「発注関係事務のガイドライン」が発出され、公共建築物のメンテナンスの業務が、従来の価格偏重の方向から、サービスの品質を重視する方向に舵が切られたところでございます。

その動きは、私どもにとりまして、まさに朗報であり、歓迎すべきことでございます。

この「ガイドライン」は、ビルメンテナンスの業務を発注する側のものではありませんが、受注する我々も「ガイドライン」の内容を学び取り、発注者から求められたサービスを適正、かつ確実に実施していかなければなりません。

そのため、新年の目標を、「社員は、国のガイドラインの内容を熟知し、正確に伝達する能力を磨くこと」にしたいと思いますので、社内教育でのご配慮をお願いいたします。

県におかれましては、昨年から、このような国の動きを踏まえ、入札制度の改善をご検討されていると聞き及んでおりますが、今後、サービスに見合った適正な予定価格が設定され、「ダンピング受注」や、「安かろう悪かろう」式のサービスが根絶されることで、建築物衛生の更なる向上と、業界の発展に弾みがつくことを、心から願うところでございます。

今年も、予期しない様々な問題に直面することになると思いますが、困難に負けることなく、常にサービスの向上をめざすことで、会員企業が更なる飛躍を遂げますことを、大いに期待するところでございます。

また、引き続き、社会貢献事業にも力を注いでまいりますので、会員の皆様方の変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本日ご出席の皆様方のご多幸と、会員企業の益々のご発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

茨城県知事 橋 本 昌 様



本日は、一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の賀詞交歓会が、大変盛大に開催されましたことを心からお慶び申し上げます。

大山会長さんをはじめ、会員の皆様方には、日頃より、建築物・設備の適正な管理や保安警備など、利用者が安全で快適に過ごせる空間づくりにご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、県シルバー人材センター連合会からの要請により高齢者のための技能講習会「高齢者活躍人材育成事業」の講師を務められますとともに、県の教育委員会と連携した小学生を対象とする「清掃活動トレーニング事業」などの社会貢献活動を展開されておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、地域経済の一部に弱さも見られ、まだまだ厳しさが残る一年でありましたが、G7科学技術大臣会合や県北芸術祭が開催され、多くの方々にご来県いただきました。また、企業の立地でも引き続き全国トップレベルの実績をあげるなど、来月26日に圏央道の県内全区間の開通を控え、明るい話題もありました。特に、G7科学技術大臣会合の会場となったつくば国際会議場の運営につきましては、大山会長さんをはじめとする企業グループ「つくばコンgresセンター」さんをお願いしておりますが、お陰をもちまして、本県の様々な魅力が各国首脳の皆様から高く評価いただきましたことに、改めて感謝申し上げる次第です。

本年は、人口が減少する中であって、本県の活力を維持し、発展させていくための重要な年であります。

災害に強い県土づくりや行財政改革を進めながら、地方創生を加速させるとともに、生活や産業など様々な分野で新たな価値を創出

する「イノベーション大県」を目指し、「人が輝く 元気で住みよい いばらき」づくりを全力で進めてまいります。

とりわけ、県民の皆様が安全で快適に生活できる環境づくりを進めていく上で、建築物の環境衛生管理をはじめ、電気通信や空調設備、防災などの保安警備といった幅広いサービスを提供されている皆様方が果たす役割は、これまで以上に重要なものとなっております。

近年は、地球温暖化防止対策をはじめとした環境問題への対応、節電などの省エネルギー対策、老朽化した施設の長寿命化に向けた計画的な修繕・改修などを踏まえ、皆様方には、より専門的な知識と技術の習得が求められていることと存じます。

さらに、本県では、世界湖沼会議や茨城国体・全国障害者スポーツ大会が開催されますほか、東京オリンピック・パラリンピックなども予定されており、国内外から多くのお客様をお迎えすることになります。

こうした中、協会の皆様が、衛生的で快適な事業環境や生活環境の提供に向けて、技術向上のため各種研修会や教育・訓練などを通じた人材育成に積極的に取り組まれていますことは、誠に心強い限りです。

県では、引き続き、協会の皆様と連携しながら、建築物の衛生環境の維持向上や省エネルギー社会の実現などに向けて、力を注いでまいりますので、皆様方におかれましても、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨城県ビルメンテナンス協会の益々のご発展と、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年の挨拶といたします。

茨城労働局 労働基準部

健康安全課長 工 藤 好 央 様



新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会の大
山会長様はじめ会員の皆様におかれましては、平
素より労働災害防止や最

低賃金制度の周知など各種の労働行政施策の推進につきまして、格別のご理解とご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

本来であれば、労働基準部長の松田が出席させていただいて、皆様に新年のご挨拶を申し上げるところなのですが、所要により出席出来ないため、私健康安全課長の工藤が代理でご挨拶をさせていただきますことをおわび申し上げます。

さて、平成28年における休業4日以上之死傷災害は、12月末時点で2,605人ということで、前年同期の2,624人に比べて19人、率にして0.7%の減少となっております。

県内の死傷災害発生件数は11月末時点では前年同期に比べて増加傾向となっておりますが、関係各位のご努力により12月からはわずかですが減少に転じております。ただ、実際に労働災害の統計が確定するのは、3月末ですので、依然として余談を許さない状況です。

一方、昨年1年間に茨城県内で発生した死亡災害は全産業で24人ということで、こちらは一昨年の平成27年に比べて9人の大幅減少ということになります。この24人という数字は茨城県内で最も少なかった年の数字が26人ですので、それよりも2人少ない数字ですので、おそ



らく過去最少の件数ではないかと思います。

もちろん、死亡災害というのはあってはならない災害ですから、少ないからいいとは言えないのですが、死亡災害をこれまで押さえることができたのは、茨城県内で働いてこられた皆様の日頃の労働災害防止のご努力の結果とも考えておりますので、改めて御礼申し上げたいと思います。

茨城労働局及び各労働基準監督署では、更なる労働災害防止を図る観点から、死亡災害などの重大な事故が多発する年末年始における労働災害防止の徹底を図る目的で、昨年の12月1日から今年の1月31日までの2ヶ月間を「年末・年始労働災害防止強化運動期間」に設定し、関

係者や発注者等への注意喚起、協力要請などとともに、様々な取組を進めております。

皆様方におかれましても、職場における整理整頓をはじめとした4 S活動などを通じて、引き続き、職場における死傷災害の積極的な防止に努め、死傷災害の防止に御協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様、そして本日この賀詞交歓会の会場にお集まりの皆様の今年一年のご健勝とご活躍をご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。



歓談



ご来賓：森田政調会長

2017年(平成29年)1月27日 金曜日 茨城新聞

■県ビルメンテナンス協会が賀詞交歓会 県ビルメンテナンス協会は20日、水戸市内で賀詞交歓会を開き、橋本昌知事ら来賓と会員約110人が出席した。写真：大山進会長は「業界を取り巻く環境は厳しい。昨年6月に厚労省から出されたビルメンテナンス

業務発注のガイドラインを熟知し、サービス向上を目指してほしい」と述べた。

情報ファイル

平成28年度 会員相互のコミュニケーション促進事業

■ 総務委員会

会員相互のコミュニケーション促進事業を、11月24日（木）～25（金）の日程で開催しました。

事業の柱である研修会の講師には、“世界が注目する新幹線劇場『七分間の奇跡』JR東日本テクノハートTESSEI”という言葉で、国内はもとより国際的にも著名な矢部輝夫先生をお迎えしました。

経験に裏打ちされた矢部先生のご講義は説得力に富み、社員のやる気と能力を引き出すにはどうすればよいのか、みんなが誇りをもって働ける職場環境を整備するにはどうすればよいのか、それらの切実な課題について、沢山のことを学ぶことができました。

また、夜の意見交換会では活発な相互の交流が行われ、多くの出席者は、会社の垣根を越えて、横の連携を一層深めることができました。

次年度におきましても、研修会を通じ、会員相互のコミュニケーションを促進するため、事業の一層の充実を図ってまいりますので、多数のご参加をお願いいたします。



矢部 輝夫先生

◇事業の概要

日程：平成28年11月24日（木）～25日（金）

会場：筑波山ホテル 青木屋 1階「富士の間」

つくば市筑波753-1

参加者数 66名（宿泊31名）

参加会員数 25社

（第1日目）

1 開 会

2 会長あいさつ

講師紹介

3 研 修

テーマ：世界が注目するおもてなし「新幹線劇場」

講 師：矢部 輝夫 先生【おもてなし創造カンパニー代表】

4 閉 会

5 意見交換会（相互のコミュニケーション促進）

（第2日目）

朝 食



自由解散

「会員相互のコミュニケーション促進事業」に参加して

茨城グローブシップ(株) 古市 茂樹

今回の講師は、「奇跡の7分間」として話題となった矢部輝夫氏。

「清掃」を扱う同業種の方の講演ということもありとても楽しみにしていました。(矢部さんの講演は人気が高く、なかなかお呼びできないとのこと。ご尽力いただいた、J R水戸鉄道サービス(株)佐藤様はじめ、関係各位に感謝いたします)

「世界が注目するおもてなし」「働く誇り・私が押した7つのスイッチ」という講演テーマでしたが、お客様に楽しんでもらう「魅せる清掃」を実践されてきた矢部さんのお話は魅力的で、大変有意義な時間を過ごすことができました。

「スタッフの建設的な提案に対し、「NO!」と言わない」「二流・三流の戦略でもいい！一流の実行力を持とう!」「スタッフが率直に思いを発信し実践」などの、興味深いフレーズがたくさんありましたが、共通して大切にされていることは、「現場力」だったと思います。

「組織というピラミッドの中で何かを動かすとき、一番動かしているのは第一線にいる人。会社を動かしているのは第一線で活躍している人達だ」という言葉は非常に

心に残りました。

T E S S E I のスタッフの方々は非常にモチベーションが高く、自分たちの仕事にプライドを持っている。だからこそ現場からいろいろなアイデアや知恵が生まれ、業務改善が進み、新しいサービスが生まれる。結果として、お客様に喜んでいただけることにつながっていることが伝わってきました。

T E S S E I の最高の「おもてなし」は早くて完璧なお掃除。仕事への意欲が高まったことで、スタッフに芽生えたおもてなしの心。自ら積極的に動き、お客様の立場に立ったサービスをするようにスタッフの意識改革を成功させた矢部さんの取り組みは世界のビジネス界から注目されています。

新しい価値観を創造し、変革のために矢部さんが押したいくつものスイッチ。「1つでも多く自分の仕事に活かせるようにしたい」講演後、感じた気持ちを持ち続けたいと思います。(思うだけでなく実践が必要ですが…)

残念ながら懇親会には参加することができませんでしたが、来年も、本事業に参加できることを楽しみにしています。



矢部輝夫さまの特別講演を拝聴して

J R水戸鉄道サービス(株) 土浦事業所 今泉 由美子

当日は真冬を思わせる大雪で、もしかしたら「特別講演」は中止かとも思いながら会場へ向かいました。筑波山麓の会場は雪一面で寒さもあり、楽しみにしていたご講演が聞けなかったらと思うと、不安が募ってきました。

しかし、ご講演は定刻通り始まりました。私も清掃を行っている一人として「新幹線劇場」のことはよく知っていました。決められた時間内に決められた以上の成果を出し、その上、お客さまに快適さと感動を感じて頂くことをしている。どのような清掃のエリート集団かと思っていました。私たちも仕事に先いるお客さまを意識して清掃をしているつもりでしたが、矢部さまのお話を拝聴して、「甘いな」と感じました。「新幹線劇場」の「キャスト」はエリート集団

ではなくごく普通の方々ばかりで、日頃から仕事に対する探究心と自分の仕事に満足しない心意気を常に持っていることを感じました。この「探究心」と「心意気」を見習って自分の職場にフィードバックできればと痛切に感じました。直接、「目に見えない」お客さまに「さわやか」「あったか」「安心」を感じて頂くための日々、努力することの難しさは大変なことと思います。それを事もなげに日々行っていることが「新幹線劇場」の糧であることがご講演の端々に感じることが出来ました。

このご講演を職場の仲間に伝え、一つでも実践できればと思いながら帰路につきました。外は夕闇になっていましたが、ご講演の感動で「一筋の光」が見えていました。ありがとうございました。



今年度の「ビルクリーニング技能検定受験準備講習会」を、下記により開催しました。

◆実施概要

- 1 期 日：平成28年12月5日（月）～6日（火）
- 2 会 場：茨城県職業人材育成センター 水戸市水府町864
- 3 受講者：21名
- 4 講習科目
 - (1) 床面洗浄作業（2コート）
 - (2) ガラス面洗浄作業
 - (3) カーペットの汚れ取り作業

ご承知のとおり、本年度から、ビルクリーニング技能検定の制度が「単一等級」でなくなり、一級から三級、さらに基礎一級から二級までの「複数等級」の資格に改められたところです。

しかし、本年度に限り、経過措置として、一級試験での実技作業試験につきましては、制度変更前の「単一等級」の試験科目（3科目）も選択できることになりました。

それを受け、この準備講習会は、従来の「単一等級」の試験科目（3科目）の習熟を目的に開催しました。

受講者の皆様方には、後がないという緊張感の中で、各科目の練習に熱心に取り組んでいただきました。

受講者全員の合格を、心からお祈りいたします。



平成28年度

小学生清掃活動トレーニング事業

■ 総務委員会

本事業は、小学生が適切な清掃の技能と衛生的な環境の大切さを理解するための一助として、平成25年度から公益社団法人全国ビルメンテナンス協会の助成を受けながら実施しておりますが、今年度も大きな成果をあげることができました。

これは、茨城県教育庁及び対象校の校長先生や教職員の皆様方のご協力と、対象校の事前調査や実地指導にあたられた協会講師及び会員企業の社員の方々のご尽力によって成し得たことであり、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

本事業は、5年計画で推進してまいりましたが、次年度が最終年度となります。

次年度は、会員の皆様方の変わらぬご協力によりまして、有終の美を飾りたいと思いますので、よろしくお願いします。

◇実施概要

- 1 期 間：平成28年6月22日～11月10日
(事前調査 延べ9日間、実地指導 延べ8日間)
- 2 実地指導校：8校
- 3 参加児童：379名
- 4 指導者：延べ48名
- 5 参加会員：23社(実数)
- 6 OB協会講師：2名(実数)
- 7 実施の詳細：次項「平成28年度小学生清掃活動
トレーニング事業実施結果」のとおり。



写真提供 河内町立生板小学校

平成28年度 小学生清掃活動トレーニング事業実施結果

班	実施会員	実施者	実施日時	学校名
1	(株)暁恒産	亙理 正英	6月28日(火) 13:50~14:35	小美玉市立 玉里北小学校 63名 4~6学年
	茨城グローブシップ(株)	鹿嶋 史子		
	関東ビルサービス(株)	山村 憲司		
	J R 水戸鉄道サービス(株)	田口 晃		
	テルウェル東日本(株) 茨城支店	中川 真実 萩谷 恵子 浅野 貴大 高橋 宏史		
2	協 会	○塩谷 文則	11月10日(木) 13:05~13:50	城里町立 沢山小学校 58名 4~6学年
	(株)暁恒産	亙理 正英		
	(株)アメニティ・ジャパン	桜沢 勝利		
	茨城グローブシップ(株)	鹿嶋 史子		
	(株)エム・ビー・シー	○藤原 明		
3	東京美装興業(株) 茨城営業所	金親 順三	10月4日(火) 13:45~14:30	神栖市立 土合小学校 42名 6学年
	(株)アメニティ・ジャパン	桜沢 勝利		
	テルウェル東日本(株) 茨城支店	中川 真実 萩谷 恵子 浅野 貴大 寺門司農夫		
	東京美装興業(株) 茨城営業所	○金親 順三		
	協 会	塩谷 文則		
4	国際ビルサービス(株) 茨城支店	○大曾根弘之	11月8日(火) 13:50~14:35	桜川市立 紫尾小学校 20名 3学年
	日本不動産管理(株) 茨城支社	花島 順子 渡辺 綸		
	協 会	篠崎 嘉勝		
5	(株)イーエス商会	吉野 祐道	7月8日(金) 13:50~14:35	八千代町立 中結城小学校 59名 6学年
	常総ビル整美(株)	○池田 弘		
	(株)塚越産業	植木 泰広		
	(株)ヤマニ商会	島田 剛史		
	協 会	篠崎 嘉勝		
6	(株)全日茨城	○小野 誠	9月28日(水) 13:05~13:50	阿見町立 阿見第二小学校 38名 3学年
	総合建物サービス(株)	片岡 潮彦		
	日本設備管理(株) 取手支店	吉田 光博		
	日本不動産管理(株) 茨城支社	花島 順子 渡辺 綸		
7	国際ビルサービス(株) 茨城支店	○大曾根弘之	6月22日(水) 13:05~13:50	美浦村立 木原小学校 41名 5学年
	(株)全日茨城	小野 誠		
	高橋興業(株)	長 恒太郎		
	タカラビルメン(株)	石井 節子 増田 静子		
	常陸興業(株)	川井 努		
8	中央管財(株) 茨城・千葉営業所	東 晃弘	10月26日(水) 14:40~15:25	河内町立 生板小学校 58名 4~6学年
	テスコ(株) つくば支店	酒寄喜美枝		
	(株)塚越産業	藤平 清史		
	日本設備管理(株) 取手支店	新井キミイ		
	(株)裕生 つくば営業所	○浅野 祐一		
	タカラビルメン(株)	石井 節子 岩佐 順子		

○印 事前調査の実施者

参加会員 23社(実数)
協会講師(OB) 2名(実数)
(特記事項)

事前調査実施者数: 延べ9名
指導実施者数: 延べ48名

対象: 8小学校
参加児童数: 379名

当初予定した北茨城市立中郷第二小学校は、実施日の朝、同校で発生した緊急事案により、本事業の実施を中止とした。

この技能講習会は、昨年度から、公益社団法人茨城県シルバー人材センター連合会様から委託を受け、実施しているものです。

その目的は、高齢者が、健康で意欲と能力がある限り、年齢にかかわらず働き続けられるように、バックアップをすることにあります。まさに、「一億総活躍社会」の実現に向けた事業の一つとも言えます。

今年度は、下記により開催しましたが、多くの受講者から好評をいただいております。

◇実施概要

- 1 開催の主体：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会
- 2 対象者：市町村シルバー人材センターに会員登録している人、または会員登録を希望する人で、臨時的、短期的かつ軽易な清掃の業務を希望する人。
- 3 会場数：9会場（日程2日間）
- 4 総受講者数：108名（1会場当たり平均12名）
- 5 講師：延べ36名
- 6 内容：心得、安全と衛生、清掃用具の基本操作、トイレ及び洗面台、ガラス窓の清掃など
- 7 開催会場及び日程等



写真提供：(公社)茨城県シルバー人材センター連合会

市町村シルバー人材センター	実施日程	受講者数	担当講師	会場名
1 つくば市	6月16日(木) 17日(金)	9	塩谷、篠崎 同上	市民ホール谷田部 大会議室2
2 那珂市	7月14日(木) 15日(金)	11	藤原、塩谷 同上	総合センターらぽーる 研修室4
3 石岡市	7月21日(木) 22日(金)	11	塩谷、篠崎 同上	グリーンパレス石岡 大会議室
4 行方市	9月7日(水) 8日(木)	14	藤原、塩谷 同上	レイクエコー 大研修室
5 下妻市	10月19日(水) 20日(木)	12	塩谷、篠崎 同上	下妻公民館 学習室
6 取手市	10月26日(水) 27日(木)	14	塩谷、篠崎 同上	取手市福祉交流センター 多目的ホール
7 鹿嶋市	10月31日(月) 11月1日(火)	13	塩谷、篠崎 同上	鹿嶋市SC 集会室(宿泊対応)
8 日立市	11月16日(水) 11月17日(木)	11	塩谷、篠崎 同上	日立市SC 大会議室
9 水戸市	平成29年1月30日(月) 1月31日(火)	13	塩谷、篠崎 同上	県職業人材育成センター
		計108名		

ビルメンテナンス ロボット実演会 の開催

■ 総務委員会

近年の業務用の掃除ロボットに対する関心の高まりを受け、多くの会員へロボットの最新情報を分かりやすく提供するため、下記によりロボット実演会を開催しました。

開催に際しましては、ロボットの紹介・実演にご参加をいただいた各企業をはじめ、三井住友海上火災保険株式会社、合同会社ビジネス実践研究所及び公益社団法人全国ビルメンテナンス協会のご支援をいただき、心から感謝申し上げます。



◇実施概要

- 1 日 時 平成28年11月17日(木) 午後1時30分～4時
- 2 会 場 茨城県総合福祉会館 1F ギャラリー
茨城県水戸市千波町1918番地
- 3 主 催 一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会
- 4 後 援 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会
- 5 参加者数 59名(会員26社、茨城県企画部)

(プログラム)

- 1 開会
- 2 主催者あいさつ
一般社団法人茨城県ビルメンテナンス協会 会長 大山 進
- 3 ゲストあいさつ「ロボットビジネス最前線×ビルメンロボットの可能性」
ロボット革命イニシアティブ協議会コアメンバー
三井住友海上火災保険株式会社 公務開発部 開発室 上席課長 北河 博康
- 4 ロボットの紹介・実演



実 演 企 業	実演するロボット名称
アマノ株式会社	業務用ロボット掃除機「RcDC」 業務用ロボット床面洗浄「SE-500 iX」
NGP-FOTEC株式会社	窓掃除用ロボット「Windowmate」
フィグラ株式会社	業務用掃除ロボット「エフロボクリーン」

- 5 個別の質疑・応答及び名刺交換
- 6 閉会



ロボット実演会に参加して

茨城グローブシップ(株) 矢口 武和

ビルメンテナンス業界では人手不足が深刻化していることや働く人の高齢化が進み安全性、生産性への負担増加から代替可能なロボット、AI機器への関心が高まっています。

清掃ロボットは、すでに一般家庭では「ルンバ」など普及が進んでいますが、業務用ロボットに触れるチャンスは少なく、協会会員にとっても初めての機会でした。

当協会が今回開催したロボット実演会は、東京に次ぐ2番目に早い開催となりました。

「具体的に役に立つものか」「費用に見合う役割を果たせるか」という観点から現状での機能や活用レベルを知ることができたこと、将来性やメーカーの取り組み姿勢についても垣間見ることができました。

実演会後の意見交換会では、参加者からコスト面、機能面、活用方法など多岐にわたり多くの質問、意見が出ていました。協力メーカーさんには今後の改善に生かしてほしいと思いました。

また、清掃ロボットについては、高性能、高機能のものから低価格に抑えた機種までありますが、高価格機種では人件費との採算にあってこないこと、低価格では作業を人が補てんして、場所、時間など工夫してもまだ機

能、安全性、作業スピードなど業務用として広く使うにはなかなか難しいとの印象を持ちました。

今後は、働き手としての高齢者もいなくなる時代です。このままでは人を多く使うサービス業は、飲食、物流、コンビニなどの業界でも消滅するとの危機感があります。

一方2045年にはAIが人間を超えと言われる機械化の進展は加速されます。

当業界も遅れることなく、ロボット、AI、デジタル化など開発により適正な価格で清掃業務を的確にこなし、美観の測定など可能になることを期待しているところです。

協会としては、清掃ロボットの進化や活用について注視していくとともに活用事例の紹介なども行っていければと思います。また、ロボット化や中小企業向け補助金制度の活用も大切だと考えます。

おわりに、ロボットの進化によりビルオーナーとは仕事の領域をめぐり悩ましい問題も予想されますが、避けて通れないと思います。また人、ロボットについていろんな組み合わせと働き方が出てくることを考えていく必要があります。

以上



平成28年1月～12月の労働災害事例につきまして、会員各社から報告されたものを参考として掲載いたします。

1 業務災害

	年齢	性別	経験年数	発生日時 事故の型別	障害模様	程度	発生状況及び原因
1	66	女	5年	1月18日(木) 11:15 屋内 転倒	靱帯損傷	休業4日以上	会議室内の清掃作業を行うため、室内の確認をしようとしたところ、設置してあるドアストッパーにつまづき転倒した。
2	67	女	12年3ヶ月	3月3日(木) 10:15 病院内 針刺し	刺傷	休業なし	室内清掃において、ダスター作業からマイクルモップ作業への切り替えに伴う清掃器具の交換の際に、落ちていた注射針(インスリン注射針)がダスターに絡まっていることに気がつかず、ダスターを外そうとした左手の人差し指に注射針を刺した。
3	41	男	6年5ヶ月	9月6日(火) 13:30 屋上 刺され	刺傷	休業なし	定期点検作業で、屋上にある空調室外機を点検していたところ、スズメ蜂に右腕を2箇所刺された。 屋上に上がって点検する前は、スズメ蜂はいない状況だった。
4	64	女	10年	9月23日(金) 11:30 病院内 挟まれ	裂傷	休業なし	トイレ清掃作業を終了し、出入口ドアを開けて通路に出ようとした時に、トイレに入ろうとした患者さんがいたので、通路側に立って左手でドアを押さえて誘導したところ、誤って左親指をドアに挟めてしまった。
5	62	男	6ヶ月	12月13日(火) 11:00 施設内 落下	頸椎捻挫	休業なし	浴場の内・外の仕切りガラス壁を清掃するのに、高所のため、脚立をハシゴ状にして窓ガラスにハシゴを掛けると割れる恐れがあるので、中段のアルミサッシにセットし、上段の窓ガラス及びアルミサッシを清掃していたが、ハシゴの上部が滑り落下した。

2 通勤災害については、28年中の報告はありませんでした。

「労働災害発生報告システム」については、
当協会ホームページに詳細がありますので、ご利用
ください。

※労働災害についての正確な情報を把握
共有するためにも、毎月の「労働災害発生
報告書」の提出について、引き続き、会員
各位のご協力をよろしくお願いいたします。



平成29年度

主要事業・行事の開催予定

(※平成29年2月23日現在)

担当委員会	事業名等	開催日時	会場
	選挙管理委員会	4月11日(火) 14:00～	協会会議室
	予備監査	5月9日(火) 10:30～	同上
	監査	5月16日(金) 10:30～	同上
	第7回常任理事会	5月16日(金) 13:30～	同上
	第3回理事会	6月8日(木) 10:30～	ホテルレイクビュー水戸
	第43回通常総会	6月8日(木) 13:30～	同上
総務	第28回優良従業員表彰式	6月8日(木) 13:30～	同上
	小学生清掃活動トレーニング事業説明会	4月27日(木) 13:30～	茨城県総合福祉会館
	小学生清掃活動トレーニング事業	6月～11月	対象校9校
	会員相互のコミュニケーション推進事業	未定	未定
建物衛生	第12回茨城県ビルクリーニング技能競技会	4月19日(水) 10:00～	茨城県職業人材育成センター
	清掃作業従事者研修指導者講習会 (新規・再講習)	7月20日(木) 9:30～	茨城県総合福祉会館
	高齢者活躍人材育成事業(清掃技能講習)	未定	未定
設備保全	技術者研修会	9月6日(水) 10:00～	茨城県総合福祉会館
労働安全衛生	労働安全衛生大会	10月11日(水) 13:30～	茨城県総合福祉会館
広報	茨協ニュースの発行	8月1日、12月1日 2018年3月1日	

※主要事業・行事については、開催が決まり次第、当協会のホームページ中「行事予定」にもアップしていきますので、ご参照ください。

会 員 告 知 板

所在地の変更 (29年2月20日～)

テルウェル東日本(株) 茨城支店

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-3-5 NTT大町旧棟ビル

TEL: 029-297-6677 FAX: 029-302-2122

理事会だより



第4回常任理事会

日時 1月13日(金) 13:30～15:00
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、田口・橋本・矢口・石田各常任理事
砂押専務理事
議題 (1)賀詞交歓会の運営等について
(2)今後の主要行事の日程等について
(3)第43回通常総会・第3回理事会について
(4)その他

第5回常任理事会

日時 2月10日(金) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 大山会長、来栖・宮内副会長、池田・田口・橋本・矢口・石田各常任理事
砂押専務理事
議題 (1)役員改選の事務手順等について
(2)ビルクリーニング技能検定の複数等級化と受検準備講習会について
(3)第12回茨城県ビルクリーニング技能競技会の開催について
(4)平成28年度高齢者活躍人材育成事業(清掃技能講習)の実施結果について
(5)平成29年前半の主要行事の日程
(6)その他

各委員会だより



建物衛生委員会

◇ 新年度事業計画策定会議
日時 1月27日(金) 15:00～17:00
場所 協会 会議室
出席者 矢口委員長、大曾根・藤原副委員長、塩谷・金親・谷田部・高橋各委員
砂押専務理事
議題 (1)清掃作業従事者研修指導者講習会の運営について
(2)高齢者活躍人材育成事業(清掃技能講習)の運営について
(3)全国協会及び関東甲信越地区本部の事業日程等について
(4)第12回茨城県ビルクリーニング技能競技会の開催について
(5)その他

広報委員会

◇ 第3回委員会
日時 2月8日(水) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 宮内副会長、田口委員長、古市副委員長、砂押専務理事
議題 (1)茨協ニュース(第97号)の発行について
(2)その他
◇ 編集会議
日時 2月23日(木) 15:00～16:30
場所 協会 会議室
出席者 田口委員長、湯原・古市副委員長、館・佐藤・伊勢各委員
議題 (1)茨協ニュース(第97号)の編集作業について
(2)その他

会 員 紹 介

Ibaraki Building Maintenance Association

エヌテークアツインズ株式会社

私どもエヌテークアツインズ株式会社は、主にホテルリネン及び空港（成田・羽田）関係のクリーニングを生業としておりますが、一部宿泊施設のベッドメイク及び清掃にも携わっていることから、茨城県ビルメンテナンス協会様の賛助会員として参加させていただいております。

お客様にとって快適且つ清潔な環境を提供できるよう日々努力し、地域社会に貢献して参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



コニシ株式会社 東京本社

弊社は1870年（明治3年）、大阪で薬種問屋として創業しました。今日では合成接着剤・補修材・シーリング材を始めとするトップブランドの「ボンド」と床用ワックス・洗剤の「ボンドワックス」のブランドがあります。弊社は「品質第一」を信条に環境や安全性を配慮した製品づくりで社会に貢献しています。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



CXS シーバイエス株式会社

当社は、ジョンソン・プロフェッショナル社、ティーポール社、ディバーシーリーバ社、大三興業社の4社が統合し、2014年7月にシーバイエス株式会社として生まれ変わりました。

ビルメンテナンス、リーテール、フードサービス、ホテル、医療施設などにおける、クレンリネスとサニテーション分野での製品、サービスの提供に努めて参ります。今後は、ロボットを中心としたIoTの分野での製品開発にも注力して参ります。



株式会社広瀬誠商会

弊社は、昭和25年座敷簀の製造・販売でスタートしました。

現在では、清掃用資機材、厨房用洗剤等を中心に販売しております。

創業以来の社是である「凡事徹底」をモットーに社員一同、これからもより多くのお客様のニーズに応えられますように、努めてまいります。

営業内容

- ・ 清掃用資機材
- ・ 厨房用洗剤
- ・ 環境美化用品
- ・ サニテーション製品



次号の会員紹介は、賛助会員のペンギンワックス(株) 東京支店、山崎産業(株) 宇都宮営業所、ユシロ化学工業(株) ポリース事業部、(株)リンレイの4社にお願いする予定です。ご協力よろしくお願いします。



いつもありがとう



我が社の主役たち



* 会員企業の働く人特集第一弾！

今回は広報委員会のメンバー企業に参加いただきました。

次号より会員の皆様からのご応募を
どしどしお待ちしております。

■ 編 ■ 集 ■ 後 ■ 記 ■

地球は数字でできている

「PPAP」で大ブレイクしたピコ太郎。2016年8月に動画を配信して以来YouTube再生回数は12月で1億回を超えた。更に「全米ビルボードトップ100に入った最も短い曲『45秒』」としてギネス記録に認定されたという。

今の世の中、何でもかんでも具体的に数字で示さないと、納得しないくらい数字に洗脳されてしまっているようだ。

どうも数字は苦手だとホールドアップしても、毎日毎日数字は容赦なく波のごとく押し寄せてくる。

キャッシュカードの暗証番号、パスワードを入力しないとログインできないパソコン等々、挙げたらきりが無い。

「暗証番号は生年月日ではだめですよ」と言われるし、車のナンバーだって車を買って替えたなら、番号なんて忘れてしまう。しかも、何度か間違えると無効になってしまうという鬼のような仕組みがワナにかけようと待ち構えている。

何度やっても苦手なものがある。不在連絡票による宅配便の再配達依頼だ。音声案内に従い、ひたすら番号を押していくあれだ。

家長としての威厳を示すべく、実にスムーズな操作を装うも、「コメジルシ？あれっシャープ？どっちだ？」と焦れば焦るほど番号を押す手が汗ばん

で震えてくるのだ。

故に通販などで自分が購入するものは、曜日と時間指定を絶対必須と決めている。

マイナンバー制度が2015年10月から始まった。メリットとしては、個人情報の一元管理による事務手続きの簡素化、事務コストの軽減等が挙げられている。一方デメリットとして個人情報の流出が懸念されている。すでにマイナンバーを利用した詐欺が早くも全国で発生しているという。

金融業界でも2021年を目処に預金口座へのマイナンバー適用の義務付けが検討されており、「マイナンバーを提示しないと取引しない」と、やがて言われる時が来るのだろう。

もしそうなれば、日本国内の金融機関に預け入れている資産額は丸裸にされることになる。桁数を数えるまでもない雀の涙ほどの預金残高だから、大きな声で言うつもりはないが、国民一人一人を12ケタの数字で番号化し一元管理するなんて、そこには一切人の温もりも感じられない、あまりに事務的で殺伐し過ぎた制度とは云えまいか。

勢い口でもう一つ。今年初め老年学会が、高齢者の定義を従来の65歳から75歳に引き上げる提言をした。

さらに65歳～74歳を「准高齢者」、75歳から89歳を「高齢者」、90歳以上を「超高齢者」とすることを提案した。

活発な社会活動の可能な人が大多数を占める70歳前後。その人たちの活躍が、明るく活力ある高齢社会に繋がるのだという。

准高齢者の65歳から74歳までの10年間で黄金時代と煽り立てるメディアもあるほどだ。

准高齢者に括られる身としては、ちょっと待てよと首を傾げたくもなる。

そこには「准高齢者」を労働市場に取り込もうとする動きが見え、さらに准高齢者＝准労働者として、次には年金受給年度の引き上げが見え隠れする。

高齢者が働きやすい世の中になるのはありがたい。しかし、働かなければ生きていけないのであれば、辛い話である。

長生きしなければ損をする世の中なのです。

あの綾小路きみまろも言っているじゃないですか。

70歳にてお迎えがあれば留守だと言え

80歳にてお迎えがあれば早すぎると言え

90歳にてお迎えがあればそう急がずともよいと言え

100歳にてお迎えがあれば時期を見てこちらから行くと言え と

ヨイショと云わないと立てない、ヨッコラショと云わないと座れない准高齢者の皆様、頑張ってくださいたいのです。くよくよすることはないのです。人間の死亡率は100%です。

最後に繰り返しではなく、神秘的な数字の話を。

私の車のナンバーは「8128」である。この数字から完全数と気づく人は多くないだろう。

完全数とは、その数自身を除く約数の和が、その数自身と等しい自然数のことである。

例えばいちばん小さい完全数6 ($= 1 + 2 + 3$)、つまり6の約数は1、2、3であり、その和は6となる。次に28 ($= 1 + 2 + 4 + 7 + 14$)、次に496、さらに8128、33550336、と続く。

現在発見されている完全数はメルセンヌ素数と同じく49個である。

紀元前より考察されている対象であるにも拘らず、「偶数の完全数は無数に存在するのか」、「奇数の完全数は存在するか」、「一の位が6か8以外の完全数は存在するか」という問題は未解決である。

古代ギリシャ人は完全数が6なのは「神が6日間で世界を創造した」(天地創造)、次の完全数が28なのは「月の公転周期が28日」であることと関連があると考えていた。

完全数は小説の中にも登場する。「28」は小川洋子著「博士の愛した数式」(映画化もされている)のなかで、元阪神タイガースの江夏豊の背番号が完全数であったことが大きなモチーフとして描かれている。

この先人生80年の暇つぶしと思っていたが、こうなればスーパー高齢者目指して、完全数の新発見でもしてやろうか。

その前に「お前の頭は大丈夫か」と心配されそうだが。

協会副会長

関東ビルサービス(株) 宮内 隆夫



稀勢の里関 横綱昇進・県民栄誉賞受賞

初場所で初優勝し、横綱昇進を果たした稀勢の里関に県民栄誉賞が贈呈され、表彰式が、茨城県庁で華やかに行われました。

表彰式概要

日時：平成29年2月9日（木） 午後2時

会場：茨城県庁2階 県民ホール

観衆：約1,200人

稀勢の里関 県民栄誉賞 表彰式



今号の編集者

- ◎委員長 田口 順章（株とも系）
- ◎編集委員 湯原 隆幸（タカラビルメン(株)）
- 古市 茂樹（茨城グローブシップ(株)）
- 舘 由紀夫（新生ビルテクノ(株)）
- 佐藤 秀夫（JR水戸鉄道サービス(株)）
- 伊勢 一則（株クリーンジャックシステム）

発行所

茨城県水戸市千波町1918
一般社団法人 茨城県ビルメンテナンス協会
☎029-305-5111 FAX 029-305-5112
E-mail : ibmal@ceres.ocn.ne.jp
<http://www.ibaraki-bma.or.jp/>

責任者 会長 大山 進

編集責任者 広報委員長 田口 順章

発行回数 年3回

印刷所 (有)クリエイティブサンエイ